

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」寒河江校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様のフィードバック、引継ぎ、共有、プログラムの立案など、職員間での連携	主担当の指導員を中心に、利用者様の様子や強み、苦手な箇所などの情報共有を行いながらプログラムを立案している。業務の合間や別途ミーティングの時間を設けたりしながら、チームとなって支援プログラムの立案をしている。	他校舎と支援の相談や共有を行う機会がある。他校舎の良さを取り入れ、自身の支援に活かすことで自己研鑽を行っている。
2	保護者様を支える支援【子育てサポート】【家族支援】	支援終了後に必ずフィードバックをしている。支援内容の報告だけでなく、支援見学の提供や、家庭や通園されている保育園等での活動内容を共有させていただいている。また、保護者様が悩んで溜め込まぬよう、気持ちの面でのケアも行っている。	実際に支援の様子を見てもらうことで、支援プログラムの意図、お子様の強みや今後の課題などを共有できるため、支援見学の積極的な声かけを行っていく。
3	機能訓練担当職員の常勤配置【言語聴覚士】	機能訓練担当職員として、寒河江校では【言語聴覚士】を常勤配置できている。必要に応じて専門職の観点からのアドバイスを支援プログラムに取り入れ、療育の質を高めることができている。	他にも保育士や教員免許、児童指導員任用など、様々な資格と知識をもった職員を配置している。お子様一人ひとりに合わせて、各職員の強みを取り入れながら療育の質を高めていく。更に職員一人ひとりの療育に対する知識や対応力等も向上出来るように取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	掲示物の多さ	出入口付近の掲示物が多く、保護者様が本当に必要な掲示を見つけにくく分かりにくい。	法令等で掲示や設置が義務付けられているものは一か所にまとめて分かりやすく提示する。不要なものは処分したり、宣伝物やチラシ、ポスターなどはラック等でひとまとめにすることで、スッキリ分かりやすくまとめる。
2	保護者様同士のつながりや、兄弟児への支援	クラゼミ寒河江校として取り組みを実施していない。兄弟児への支援に関しては、保護者様からお話が出た際に必要に応じて対応している。	希望される方が多い場合は実施を前向きに検討していきたい。兄弟児への支援は必要に応じて行っているが件数は少ない。アセスメント時、ご家庭での様子をうかがった際、対象である方に対して、保護者様への声掛けを行っていく。
3	地域住民との関わり（校舎イベントへの招待）	クラゼミ寒河江校として、現在はイベントの企画やイベントへの招待等の取り組みを実施していない。	希望される方が多い場合は実施を前向きに検討していきたい。寒河江市の自立支援協議会に参加した際、実際にイベント企画や実践をしている事業所さんの話を聞いていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」寒河江校				公表日		2026 年 2 月 14 日	
		利用児童数				20		回収数	
						20			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	5	0	0	・ボールを使ったりする時に、他の利用 児さんの迷惑にならないかなと思うことがあつ た。 ・体を使った活動もできています。 ・十分に確保されている。	限られたスペースではありますが、パー テーションの利用等で、今後も工夫した 対応を行っていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	0	・適切である。 ・マンツーマンで対応して下さっている ので安心です。	ありがとうございます。 マンツーマンはクラゼミの強みでありませ うで、今後も丁寧な対応を行っていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2	0	1	・階段があるので何とも言えない。 ・生活空間、良い環境だと思う。 ・入りの段差	現在はスロープや手すりの設置予定はありま せんが、今後必要と思われる場合には設置の 検討をしていきたいと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19	1	0	0	・おもちゃ置き場など、きれいに分か りやすい環境になっている。	ありがとうございます。 今後も整理整頓を心がけていきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	19	1	0	0	・丁寧な支援を受けている。	ありがとうございます。保育士や言語聴覚士等、 様々な資格を持った職員が常勤していますので、 様々な観点からプログラムの立案と提供をさせて頂 いております。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	20	0	0	0			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	20	0	0	0	・作成されている。 ・個別性のある計画を立案して下さって いると感じます。	ありがとうございます。これからも、利用者様一人 ひとりに合った関わりや支援を大切にしながら、丁 寧に計画を考えていきたいと思っています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	2	・設定されている。	利用者様を支えるために、様々な角度から支 援計画を作成しております。気になる点や変 更点、ご質問などがありましたらご遠慮なく お申し出ください。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1	・まずはクラゼミに慣れることを優先に 対応いただいており、ありがとうございます。	一人ひとりに合わせて段階的に支援を 行っております。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	18	1	0	1			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	11	2	3	4			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0	・定期的に説明がある。	契約時必ずご説明しておりますが、ご不明な点等につ いてはご遠慮なくお申し出ください。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0	・説明があった。	個別支援計画交付時に必ずご説明しておりますが、 ご不明な点等についてはご遠慮なくお申し出くださ い。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	2	4			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	19	1	0	0	・いつもありがとうございます。 ・毎回子供の状況を話す時間がある。共通理解で きている。 ・毎回詳しく丁寧にその日の様子を伝えてくれる のでありがたい。	ありがとうございます。今後も保護者の 皆さまと丁寧に情報共有を行いながら、 利用者様一人ひとりに寄り添った支援に 努めてまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	1	・支援が行われている。	何でもお気軽にお申し付けください。お 子様のことで悩んでいること等、一緒に 考えていきましょう。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	・子供の成長を見てくれていて、合わせて支 援していただいています。 ・共感的に支援がされている。	ありがとうございます。ご利用者様の成 長に寄り添いながら、気持ちに共感した 支援を大切にしております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	3	11	・通所してまだ期間が短いからか、 年齢的に対象でないのか、参加したこと はありません。 ・保護者会等に出たことがない。	希望される方が多い場合は実施を検討し たいと思いますので、お気軽にご相談く ださい。	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	1	6	・発信されている。	Instagramやホームページで活動の様子を発信させていただいております。また、自己評価等の結果については年度ごとにホームページで公表しておりますので、是非ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	1	・十分に留意されている。 ・インスタの写真で、靴下の裏に名前が記載されている写真が載っていた。こちら側も注意していきます。	書類などは鍵付きのキャビネットで保管してあります。お子様のお名前が写真で発信してしまった件については大変申し訳ございませんでした。現在確認中で、見つけ次第削除いたします。今後同じことを起こさぬよう十分に配慮していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	5	説明はありましたが、訓練は行われてません。そのような時間はあるのでしょうか？ ・説明はされたが、実施されているか分からない。	定期的に防災訓練は行っていますが、児童全員が参加できているというわけではありません。まだ参加できていない方は次の機会にお声がけさせていただきます。また、訓練を行った報告書を玄関に掲示しておりますので、ぜひご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	0	7	・訓練は分からない。 ・あまり訓練が行われた話を聞かない。	定期的に防災訓練は行っていますが、児童全員が参加できているというわけではありません。まだ参加できていない方は次の機会にお声がけさせていただきます。また、訓練を行った報告書を玄関に掲示しておりますので、ぜひご覧ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	3	・特に事故など発生していませんが、普段から細かく今日の様子などを教えて頂いています。	事故は今のところ発生しておりません。良い事ではありますが、万一に備えて、事故が起きた時の行動マニュアルや役割分担なども、校舎内で策定しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	1	・まだママから離れることに不安があるようですが、同じ空間にいる分にはすぐ近くでなくとも平気なようです。 ・安心感を持って通所している。	ありがとうございます。今後もお子様楽しく通っていただける事業所を目指してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	2	・行き渋りがたまにあるが、行ったらすごく楽しそうにしている。 ・「クラゼミ行くよ」と声をかけると、いつも「行くー」と言ってニコニコしています。「次はいつ行くの？」と楽しみにし、幼稚園でも先生に「今日行くの！」と笑顔で報告しています。 ・毎週楽しみにしています。	ありがとうございます。今後もご期待に応えられるよう楽しいプログラムを用意してお待ちしております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・とても満足しています！ ・楽しみながら成長しています。ありがとうございます。 ・今後ともよろしくお願いいたします。	温かいお言葉をありがとうございます。今後もお子様楽しく通っていただける事業所を目指してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」寒河江校				公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			玄関前に階段がある。手すりを設置する等は難しいが、今後検討していきたい。段差の箇所にカラーテープなどを貼って注意喚起を行う。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室を利用したり、パーティションで区切ったりすることができる。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		本社主催の研修があり、受講できる環境が確保されている。				
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○						

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ずとは言えないが、打ち合わせや引継ぎを行っている。	毎朝全体ミーティングをしているが、できない日もある。毎日出来るようにしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・必ずとは言えないが、打ち合わせや引継ぎを行っている。当日にできなかった際は翌日に行っている。 ・支援当日は難しいが、後日職員間で共有できている。	毎朝全体ミーティングをしているが、できない日もある。毎日出来るようにしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		定期的にケース会議に参加したり、保育の様子を見学させていただきながら、情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っている。	必ず行っているわけではなく、今後はなるべく情報共有を行っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバック時に支援で気になった点について共有すると同時に、家庭での様子について聞き取りを行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	形として交流の場は設けていないが、保護者同士で交流は行われている。	希望される方が多い場合は実施を検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		主にホームページのブログとInstagramで発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのキャビネットに保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		機会や必要性があれば積極的に行ってきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供は行っていないが、アセスメント時に必要に応じて聞き取りを行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			